

施策名	1 市民自治活動・学び	1 第2期基本計画を構成する基本的施策1~13
R9年度末にめざす状態（施策目標）【P】	自ら学び、地域活動や市民活動に取り組む市民が増えている	進捗度 B

総合計画審議会からの施策目標の実現に向けた講評等
6 前年度総合計画審議会からいただいた評価及びご意見等を記載。 ※令和8年度はこちらに審議会としての評価、ご意見等を記載いたします。

【進捗度】 A：4年後にめざす状態をすでに実現している、B：4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる、D：4年後にめざす状態の実現には努力が必要である、E：4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である

(1)持続可能な身近なコミュニティづくり 施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
2 各施策において、市民や事業者、行政が共に4年後に実現を目指す将来の暮らしや、まちの姿、行動を示したもの		
3 4年後のめざす状態への進捗度を5段階で選択 A:4年後にめざす状態をすでに実現している B:4年後にめざす状態の実現に向けて大変順調に進んでいる C:4年後にめざす状態の実現に向けて概ね順調に進んでいる D:4年後にめざす状態の実現には努力が必要である E:4年後にめざす状態の実現には相当努力が必要である		
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	

(2)主体的な学びの場の創出 施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
4 第2期基本計画で示す施策の主な方向性ごとに、施策目標の実現に効果のあった取組【D】、成果や課題【C】、今後の取組の方向性【A】を記載		
成果【C】について、施策の主な方向性に対してではなく、「令和9年度末にめざす状態」にどのように寄与し、または近づいたのかというアウトカム(市が事業・取組を行った結果として、市民や取り巻く環境に何が起こったのか)の視点で、根拠となる数値等に基づき評価されるように端的に記載を行う		
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	

(3)文化振興による市の魅力向上 施策目標の実現に向けて得られた成果【C】	施策目標の実現に効果のあった取組【D】	取組による効果の内容とその根拠【D】
施策目標の実現に向けて解決すべき課題【C】	施策目標の実現に向けた今後の取組の方向性【A】	



《参考》めざす状態に対する市民実感度 「そう思う」+「どちらかというと思う」と回答した人の割合	
【R6.8月】 26.3%	(参考) 前回値 —

5 めざす状態に対する市民の実感度をアンケートで調査。
(※令和6年度 市民実感度調査結果)